



高橋 美幸
(公明党)

**市民対象の
LRT先進地視察を**

問 本市では市民のほとんどが路面電車になじみがないため、車を運転する方には交差点での右折方法や信号表示など不安や疑問を持つ方もいると思う。市自治会連合会主催の富山市LRT視察研修の参加者からは「実際に乗ってみて良さが理解できた。」との意見があり、公共交通の便利さなど、実体験を通じて理解することでLRT整備後の市の将来に、大きな希望を持ってもらえると思う。

市では、様々な方法でLRTの良さを伝えていますが、多くの市民に直接体験してもらうことが、市民理解の近道と考えることから、市民を対象に

LRT先進地研修を実施すべきと考えるがどうか。

答 本市では、これまで様々な映像等を作成し、あらゆる機会を通じて市民にLRTの具体的なイメージをお伝えしてきたところであり、先日は、富山市のLRTを視察した宇都宮未来クラブの子どもたちから「揺れが少なく、静かであった。」など、LRTを体験したからこそその貴重な意見をいただいたところである。

議員提案のLRTを実際に「見る・乗る」ことができる先進地への視察研修は、LRTの優れた特性を理解していただくために、極めて有効な手段であることから、実現に向け検討していく。

その他の質問項目

- ①男女共同参画推進センターの愛称
- ②肝炎の重症化予防対策
- ③在宅または施設での看取りと摂食嚥下障がい
- ④新規就農者の確保
- ⑤図書館における地域資料の充実と積極活用
- ⑥小学校における英語教育



山崎 昌子
(自民党)

**地域資源を活かし
観光地大谷の
活性化を**

問 地底湖フルージングや夏いちご栽培などの現在の取り組みに加え、誰もが安全で快適に移動しながら楽しめる観光地とするためのユニークで大胆な仕掛けが、活性化への起爆剤になると考える。かつての大谷石産業の軌道跡を観光に活用し、当時の乗り物を復元するなど、大谷ならではの地域資源を活かしながら活性化を図るべきと考えるがどうか。

答 体験型観光などの新たな事業の創出を支援するとともに、交通事業者や観光施設と連携し、大谷観光一日乗車券を企画し誘客を促進するなど、

官民が一体となった取り組みを進めている。こうした取り組みをさらに加速させるため、29年度は大谷石建造物や地下空間など、貴重な地域資源を効果的に活用するための調査に着手した。

大谷の石材軌道なども観光への活用が期待できることから、安全管理などの解決すべき点もあるが、当時の乗り物を最新技術で復元する手法など、さまざまな活用の可能性について検討を進める。



▲当時の乗り物の様子

その他の質問項目

- ①市民と行政をつなぐ広報広聴の充実
- ②高齢者の外出を支える、座れる椅子のあるまちづくり
- ③国民健康保険の制度改革
- ④中心市街地の放置自転車対策
- ⑤就学援助における小中学校入学前の支援
- ⑥栃木国体の開催に向けた取り組み



今井 政範
(自民クラブ)

**避難所運営ゲーム
全ての子どもたちに
体験の機会を**

問 避難所の開設や運営などを模擬体験する避難所運営ゲームを体験した。予測できないことが起こることや、集まった人全員で運営すべきであることなど、ゲームを通じて学習できることが多く、予想を超える事態の連続でパニック状態となるものの、事前の心構えと準備がとても大切であることが分かった。

そこで、本市の全ての子どもたち、特に中学生には体験してほしいと考えるがどうか。

答 避難所運営ゲームの実施は、防災活動や災害時の助け合いに対する理解が深まることで、地域

社会の安全に貢献できる子どもの育成に効果があるものと考えている。

現在、学校においては、自らの命を守り、周囲の人々の安全に向け、主体的に行動できる災害対応能力の向上を目指し、児童生徒の発達段階や地域の実情に応じた防災教育を推進している。

避難所運営ゲームについても、学校の実態に応じて取り入れることができるよう、実践事例の紹介やゲームの貸し出しなどにより支援していく。



▲避難所運営ゲームキット

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢(LRTの架線レス化など)
- ②学校における安全・安心な樹木管理
- ③保育所等の巡回指導支援
- ④図柄を活用したブランド戦略
- ⑤自転車のマナー向上
- ⑥子ども発達センターの活用に向けた取り組み
- ⑦宇都宮の歌のさらなる周知